



Fukagawa Rotary Club

R I 第 2510 地区第 1 グループ 深川ロータリークラブ

よいことの
ために



手を取りあおう

青少年奉仕について

担当：青少年奉仕委員会

4月7日

(火)

N03091 第 29 回例会

木村喜芳会長エレクト卓話



例会案内	例会案内「4月～5月」
4月 7日(火)	☀️ 青少年奉仕委員会担当例会
4月14日(火)	☀️ 市長卓話
4月21日(火)	👤 観桜会 (移動例会・夜間)
4月28日(火)	☀️ 法廷休会
5月 5日(火)	☀️ 法廷休会
5月12日(火)	☀️ 地区研修協議会報告
5月17日(日)	☀️ 都市連合会 (羽幌)
5月26日(火)	👤 国際奉仕委員会担当例会
6月 2日(火)	☀️ 本年度活動報告

出席報告 3月24日例会

総会員数	28名 (出席免除者1名中0名出席)
欠席者数	10名 石川, 井上, 遠藤, 寺島, 平瀬, 宮岸, 宮澤, 児島, 樋口, 武田各会員
出席率	62.96%
前回メモキャップ	1名 宮澤幹事
前回修正出席率	66.67%

前例会幹事報告 清水副幹事

- ザ・ロータリアン誌英語版の送付
- R Y L A セミナーの案内
- 赤平 R C よりロータアクト 50 周年式典の案内
- 国際ロータリーゴルフ選手権の案内

スマイルBOX
284,062

会長挨拶 伊東由紀夫会長

今週の土曜日羽幌において 2510 地区第 1 グループの第 1 回の会長、幹事会が羽幌において行われました。会議の内容は 5 月 17 日開催予定の IM の進捗状況について、また各クラブの近況について、それから今後のスケジュールについてということになっております。IM の参加は全員参加ということになっておりまして、次週から登録超 1 万円とガバナ補佐謝金として千円、合計 1 万 1000 円を集めることになるとなっておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

清水次年度幹事卓話



2026-27 年度の会長エレクト研修セミナーに参加した報告です。事前に必要な e ラーニングを受講するためロータリーのアカウントを作成しようとしたところ、「以前に作っていたようで 2 重登録になってしまって」ログインできない状況となり、アメリカ本部への削除依頼メールが必要になるなど対応に追われました。最終的には閲覧できるようになり、無事に会議へ参加できましたが、まだ完全に解決していないため、時期までに整えておきたいと感じています。

研修はパークホテルで 2 日間行われ、封筒いっぱい資料を受け取り、「これがかっちり把握するにはまだまだ時間がかかりそう」と感じつつ参加しました。分科会では各クラブが抱える会員減少や会費、新規会員獲得など共通の課題について意見交換し、同じ悩みを共有していることを実感しました。

また、同年代で初めて幹事を務める方々や、羽幌・留萌の次年度幹事の方と連絡先を交換し、LINE グループも作成するなど、次年度に向けたつながりができたことが大きな収穫でした。まだ知識不足を感じつつも、2 日間の研修に参加できたことを報告いたします。

木村喜芳会長エレクト卓話

会長幹事エレクト研修セミナー報告

3月7日・8日の2日間、パークホテルで開催された「会長・幹事エレクト研修セミナー」に出席してまいりました。

昨年までは会長エレクト研修と、4月に行われる地区研修協議会が別々に開催されてきましたが、今年度はガバナー方針により、両者を統合し、会長・幹事を対象とした形で実施されました。大西将太ガバナー補佐予定者も参加されました。

配布資料のプログラムに沿って研修が進み、初日は古野重幸ガバナーの挨拶に続き、地区方針の説明が行われ、ガバナーエレクトは、今年度新しいことを始めるのではなく、歴代ガバナーが積み上げてきた取り組みを「フェアウエイに置かれたボールを1打前に進めるように」継続・発展させたいと述べられました。継続・発展推進事項としては以下の点が示された。

- クラブ基盤の強化
 - 地区純増150名を目標とした会員増強
 - 女性会員の増加
 - 新クラブ設立の推進
 - 新会員を温かく迎えるクラブ
 - 入会後2〜3年での退会を防ぐための会員のフォロー強化
 - 事務手続きの簡素化によるクラブ運営負担の軽減
- 奉仕活動と公共イメージ向上
 - 地域ニーズに合った新規奉仕活動の模索
 - SNS活用による広報強化
- 地区補助金を活用した地域貢献プロジェクトの推進
- 会員研修の充実
 - 新入会員研修会の実施
 - My Rotary 登録促進とラーニングセンター活用

● 会長は事前に340項目の基本プログラムをラーニングセンターで視聴する必要があるが、私も受講して参加しました。また、地区運営方針として「タイムパフォーマンスの向上」が掲げられ、短時間で効率的な運営を目指すことが強調され、これに伴い、会長・幹事はクラブに戻って、財団・米山など各委員長へ研修内容を説明する役割を担うこととなります。

- 分科会での議論と各クラブの取り組み
 - 初日の午後には分科会が行われ、大西ガバナー補佐がフアンリテーターを務め、参加者は羽幌、留萌、岩内、倶知安、小樽、南蘭越、余市の会長予定者で、以下のテーマで意見交換が行われました。
 1. クラブの現状分析と必要な取り組み
 2. 会長年度に大切にしたいこと
 3. 会長としての不安や疑問
 4. 1年間で予定している活動内容

- 小樽クラブ
 - 新会員への「気配り・目配り・心配り」を重視
 - 入会年数の浅い会員を丁寧にフォローし退会防止につなげる
 - 留萌クラブ
 - 「例会に参加して良かった」と思える内容の充実を最優先
 - 単なる人数増強より会員満足度を重視
 - 蘭越クラブ
 - 退会者に卓話を依頼し、退会理由やクラブの課題を共有
 - 改善策を共に考え、再入会につなげる取り組み
 - 岩内では、青少年奉仕として尻別川清掃、絵本作、漢字コンクールなどを継続

- 小樽クラブ
 - 創立100周年に向け、会員100名を目標に増強委員が対象者に個別訪問
 - 季節感のある例会食(例・夏のうな重)で出席率向上(9割に達した例も)
- 余市クラブ
 - ワイナリー見学を企画
 - ワイナリー関係者への入会働きかけ
- その他の取り組み
 - 退職に伴う退会を防ぐため「準会員制度」を導入し会費を半額にする
 - 物価高・会員減少により予算縮小が進む中、例会回数を減らして会費アップを抑制
 - 若い会員は夜間例会の方が参加しやすいという傾向も共有された

分科会では多様な意見や工夫が語られ、私自身も大きな刺激を受けた。

2日目は財団・米山奨学会の研修が行われ、米山奨学事業の成り立ちについて嵯峨バスターガバナーから学ぶ機会がありました。研修後には、大西ガバナー補佐からウイスキーをいただき懇親を深め、終了後は清水幹事の招待でエスコフィールドで野球観戦を楽しむなど、充実した2日間となりました。

今回の研修は、会長・幹事としての役割を再確認し、他クラブの取り組みや課題を共有できる貴重な機会となりました。

得られた学びや刺激を今後のクラブ運営に活かしていきたいと思えます。

詳細は5月2日の卓話で改めて報告する予定です。



深川 RC
例会運営委員会

委員長 長谷川幸
副委員長 飛野貴

幹事 伊東宮澤
副幹事 紀司

深川 RC
■例会場 ラ・カンパーニュホテル深川
■事務局 〒074-0004 深川市4条9番40号
プラザ深川3 F TEL (0164) 34-6228
■ URL <http://mypage.fukanavi.com/rotary/>

木村喜芳 会長
清水秀晃 副会長

寺島廣 会計
康宏晃士 副会計

■例会日 毎週火曜日
■姉妹クラブ 南海RC (韓国)
■第2510地区第1グループ
■ Mail fukagawa-RC@club502.jp